



単位互換による (2単位) 「防災士」養成講座

防災士になろう。大切なものを守ろう。



本講座は、2016年度に防災士養成講座研修機関として認証された関西国際大学が、「大学間における単位互換を含む包括協定* (締結予定)」に基づいて協定校と共催し、兵庫県内の優良企業の協力を得て実施します。授業として実施するため一般的に約5万円の受講料が無料、受講生が負担する諸費用11,000円のうち8,500円(指定教本代・受験料・防災士登録料の半額)の支援が受けられる大変お得なプログラムです。
*大学間連携協定大学：関西国際大学、淑徳大学、北陸学院大学、富山国際大学、共愛学園前橋国際大学、大正大学

わたしたちは、学生のみなさんの安全・安心への取り組みを応援しています。
TOA株式会社 大栄環境株式会社 八二一化成株式会社 株式会社川嶋建設 株式会社ソネック
日本臓器製薬株式会社 株式会社 NESTA RESORT 株式会社柄谷工務店 株式会社森長組

2018年 集中講義

会場：関西国際大学 尼崎キャンパス
〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号
JR 尼崎駅から徒歩5分

申込み先・問合せ先：

大学間連携による「安全・安心」教育の推進について

本連携大学事業では、安全・安心な社会づくりに貢献できる人材育成に取り組んでいます。これは、自然災害や危機管理問題が日本国内や国際社会で次々に生じる中、それらに適切に対応するための基礎教育を身に付けておくことは、どのような職業に就いていても、家庭や地域でどのような役割をになっけても必要と考えるからです。

防災士養成講座は、自然災害に対応する力を身につけ、さらに「防災士」試験の受験資格を取得できる授業として、2016年度秋学期に関西国際大学においてスタートした大変人気のある科目です。そして、大学のこのような人材育成の趣旨に賛同して下さった地元の有力企業の支援により、授業料以外で必要となる諸費用のほとんどが寄附により賄われるという特別な講義です。ぜひこの機会をぜひ活用して、スキルアップしてください。

防災士とは

“自助” “共助” “協働” を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、日本防災士機構が認証した人々です。平成15年10月防災士第1号が誕生して以来、平成28年7月31日までに113,575名の防災士が認証されています。



2016年4月 熊本地震

特定非営利活動法人日本防災士機構 <http://bousaisai.jp/>
特定非営利活動法人日本防災士会 <http://www.bousaisaikai.jp/>

受講資格

- 大学間協定に基づく連携校の学生であること
- 防災士資格の取得を目指す学生であること
- 防災士養成講座受講に必要な事前学修 (E-ラーニングによる自習) 10時間程度を実施すること

注意点

- 会場までの交通費ならびに宿泊費は受講者負担となります
- 防災士登録に必要なため、「普通救命士講習」を受講しておいてください。各自治体消防署などで定期的に無料で実施されています。(3時間で修了)

アクセスのご案内

受講確定者には別途詳細を案内します



会場：関西国際大学 尼崎キャンパス
〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号
JR 尼崎駅から徒歩5分



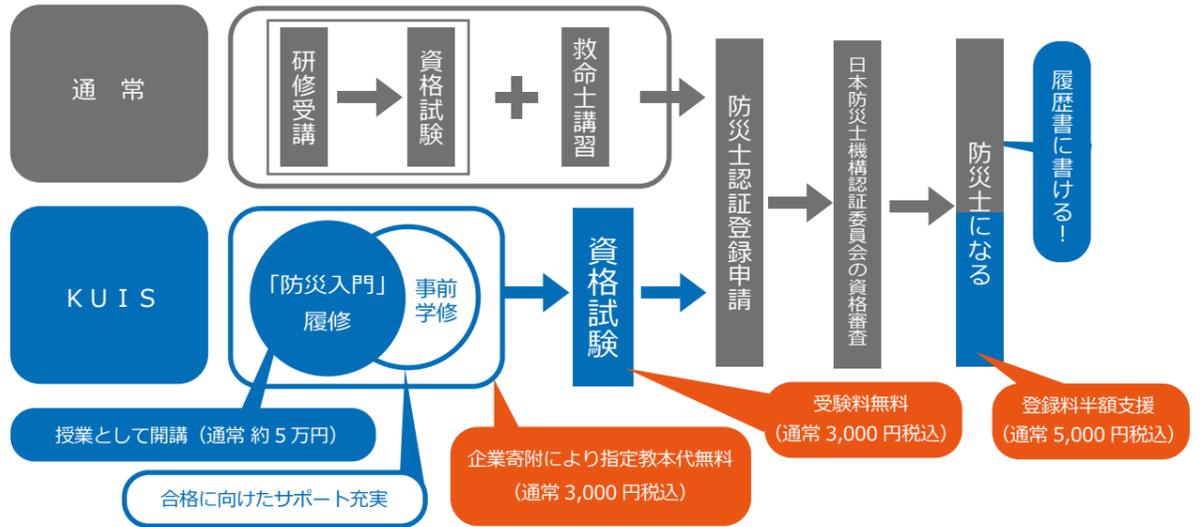
シラバス

科目名	防災入門(2017年度冬学期集中)	単位数	2
本授業の概要と学修目標	今後ますます頻発し巨大化する各種災害をたくましく生き抜くために必要となる災害に対する基礎的な知識、災害への備え、災害発生時の対応などについて体系的に学習する。これにより、将来各方面で活躍するなかで、地域や組織における防災リーダーとして安全・安心をけん引していける人材を育成することを目標とする。		

尼崎キャンパス 各日:2限~5限 (10:40~18:00)

授業回数	講義テーマ	概要	担当講師	
1日目・2月18日(日)	1 10:40-12:10	ハザードと災害(防災と減災)	災害の歴史を通じて、自然現象としての地震や風水害が、人命や財産を脅かす災害となる要因などについて学ぶ	齋藤富雄(副学長) 村田昌彦(グローバル教授)
	2 13:10-14:40	行政対応と災害法制度 <地域防災計画、災対法、救助法>	災害が発生する都度見直しが続けられてきた日本の災害関係法制度(災害対策基本法、災害救助法、地域防災計画等)の変遷や内容について学ぶ	村田昌彦(グローバル教授)
	3 14:50-16:20	災害発生の歴史と仕組みと被害2 <台風、風水害、強風・竜巻、土砂災害>	災害発生のメカニズムや要因、過去災害における被害等について学ぶ <台風、風水害、土砂災害等>	村田昌彦(グローバル教授)
	4 16:30-18:00	災害発生の歴史と仕組みと被害3 <火山・火災>	災害発生のメカニズムや要因、過去災害における被害等について学ぶ <火山、火災>	村田昌彦(グローバル教授)
2日目・2月19日(月)	5 10:40-12:10	災害発生の歴史と仕組みと被害1 <地盤災害等:地震・津波>	災害発生のメカニズムや要因、過去災害における被害等について学ぶ <地震、津波等>	宇田川真之(DRI研究主幹)
	6 13:10-14:40	企業・都市における防災総論 <都市経営と災害、BCP、地震保険>	企業の災害対応、企業を含む地域全体での復興の方向性、事業継続計画(BCP)などについて学ぶ	松本茂樹(経営学科長)
	7 14:50-16:20	防災まちづくり <ハザードマップ・地域の復旧と復興>	平時からの防災まちづくりの取り組み、災害後のよりよい復興を目指す復興まちづくりについて過去の災害から学ぶ。また、地域の危険や防災情報を含んだハザードマップの意義、活用策について学ぶ	村田昌彦(グローバル教授)
	8 16:30-18:00	防災情報 <予警報、緊急地震速報、被害・避難者情報>	気象庁による災害発生前の予報、警報システム、それをベースに市町村が発する避難情報(避難勧告・指示)、さらにそれらを市民に伝えるマスコミとの有機的な連携などについて学ぶ	村田昌彦(グローバル教授)
3日目・2月20日(火)	9 10:40-12:10	災害医療・看護 <応急救急・救命、トリアージ、こころのケア>	災害発生時の医療、看護システム、特に全国的な支援システムであるDMAT(医師や看護師等によるチーム編成)の仕組みなどについて学ぶ	松田宣子(看護学科教授)
	10 13:10-14:40	ライフラインの被害と復旧 <ライフライン・交通インフラ>	災害により多大な影響を受けるライフライン(交通網、水道、ガス、電気、通信等)の被害や復旧について、過去の災害から学ぶ	村田昌彦(グローバル教授)
	11 14:50-16:20	防災訓練の実践・危機管理 <防災訓練・図上訓練、危機管理>	広域防災センターの講師から、兵庫県の被災者支援のための広域防災システム、様々な訓練手法等を学ぶとともに、実際の図上訓練(HUG)に参加し災害時の活動をイメージする	兵庫県広域防災センター 田中専門員
4日目・2月21日(水)	12 16:30-18:00	被災者の心理 <避難と避難行動、災害と流言・風評>	災害情報を受け取る市民の意識構造と避難行動との関係を心理学的に学び、災害によるパニック、流言、風評被害の発生要因・対策等について学ぶ	横川滋章(人間心理学科准教授)
	14 13:10-14:40	自助・共助・公助 <耐震診断と補強、身近でできる防災対策>	災害時に公助の限界、自助・共助の重要性についての背景、地震保険加入を含む、自分たちができる災害への備えなどについて学ぶ	村田昌彦(グローバル教授)
	15 14:50-16:20	総括試験、防災士試験対策	防災・減災で必用となる基本的知識についての総括・総括試験	村田昌彦(グローバル教授)
	16:30-18:00	防災士試験実施(予定) <試験時間:16:50-17:40>		日本防災士機構

防災士になるためのステップ



【申込 - 事前学修 - 受講の流れ】

- 11月24日(金) 各大学教務課申込み受付終了
- 12月上旬 受講者の所属する大学に下記書類を送付
 - ・受講案内
 - ・平成29年度「防災士教本」
 - ・事前学修用E-ラーニングアカウント通知書
- 1月下旬までに 市民救命士講習修了証の写しを所属大学に提出
- 2月18~21日 集中講義受講
- 2月21日(水) 総括試験 *7割以上正答で「防災士」試験の受験資格付与
- 2月21日(水) 「防災士」試験
- 3月上旬 結果通知・単位認定手続き
- 3月下旬 「防災士」登録手続き
- 7月上旬 「防災士」登録証交付

参考情報

兵庫県で防災を学ぶ方におすすめの施設

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
DRI The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial Disaster Reduction and Human Renovation Institution

入館料：600円
全館見学所要時間 約4時間 (最短1.5時間)
最寄駅 JR 灘駅から徒歩20分

人と防災未来センターホームページより転載
毎月17日は入館料無料

13シアター (全席指定) 17時開演
防災館の歴史
防災館のまじり込みをリアルに再現 町並みも再現して見せます

大震災ホール (1000名収容) 17時開演

兵庫県広域防災センター

兵庫県広域防災センターは、災害時において全県域をカバーする広域防災拠点として機能するほか、平常時には、地域の防災力を高めるための人材育成を行っています。

関西国際大学 三木キャンパスから徒歩約15分

参加ご希望の方は、関西国際大学 社会連携課にご連絡ください。0794-84-3505

参加は事前問い合わせ必要
主な防災体験型学習メニュー
起震車による地震体験、煙避難体験、消火器取扱体験、備蓄倉庫見学等